

# 平成30年度ごみ処理実績

ごみ処理費用		収入	
総額	5億9,300万円	6,600万円	
内 訳		内 訳	
収集運搬費	1億3,700万円	ごみ処理手数料	4,600万円
美化センター中間処理費	2億8,100万円	資源売却料	1,100万円
最終処分場最終処分費	4,500万円	再商品化拠出金等	200万円
資源化処理委託費	3,200万円	その他収入	700万円
施設改良費	9,800万円		
ごみ1tあたりの処理費用：39,588円		市民1人あたりの処理費用：11,470円	

## ごみ収集量合計 14,982 t

内 訳			
燃えるごみ	13,325 t	資源化量 (1,275t)	
燃えないごみ	90 t	新聞	103 t
粗大ごみ	335 t	雑誌	78 t
資源	1,232 t	段ボール	43 t
<p>《市民1人が1日に出すごみの量》</p> <p>平成29年度実績値 800.3g/人・日</p> <p>↓</p> <p>平成30年度実績値 793.8g/人・日</p> <p>対前年比 約6gの削減</p>		牛乳パック	3 t
		鉄	10 t
		アルミ	14 t
		その他の金属	374 t
		乾電池	11 t
		びん類	215 t
		ペットボトル	63 t
		プラスチック製容器包装	284 t
		衣類等	61 t
		小型家電	7 t
		廃食油	6 t
		蛍光灯類	3 t

### ごみの種類組成結果(重量比)

ごみ質分析は、法令で義務付けられているためだけでなく、焼却施設の管理、ごみ処理計画、ごみ減量計画、リサイクル・資源化のためのデータ収集など、さまざまな目的のために実施されます。

右図のとおり、排出されたごみの全体の9割以上は『可燃ごみ』です。  
また、紙・布類だけで全体の5割以上を占めています。引き続き、再資源化の可能な古紙・衣類等の分別の徹底をお願いします。

